

## (6) 景観及び人と自然との触れ合い活動の状況

### 1) 景観の状況

事業予定地周辺には、宇治田原町に位置する末山・くつわ池自然公園や久御山町飛地内の府民スポーツ広場（みどりが丘）等が北側にあり、地域住民をはじめ多くの人々に利用されている。

また、主要地方道や国道を挟んだ反対側は保安林に指定された山林がある。このほか、事業予定地の東側には東海自然歩道が通じている。

事業予定地を近景として視認できる範囲には、府民スポーツ広場（みどりが丘）や末山・くつわ池自然公園があり、特に公園内の展望台は、事業予定地周辺に位置する主要な眺望点の一つである。

### 2) 人と自然との触れ合いの活動の状況

事業予定地周辺の主なレクリエーション施設等を図2-2-1.13に示す。

主な施設としては、事業予定地北約1kmに府民スポーツ広場（みどりが丘）、北東約1kmに末山・くつわ池自然公園、東海自然歩道、北西約3kmに府立山城総合運動公園（太陽が丘）、南約2kmには鴨谷の滝等がある。

府民スポーツ広場（みどりが丘）は、宇治市、城陽市、宇治田原町の境界にある久御山町飛地に位置しており、多目的グラウンドと自由広場があり、野球、サッカー、ソフトボール、ゲートボール、ラクロス等、様々なスポーツに子供から大人まで幅広く利用されている。末山・くつわ池自然公園は、くつわ池を中心として釣り堀、キャンプ場・ロッジ、フィールドアスレチック等の野外施設を備えており、園内にある展望台からの眺望も優れ、自然を生かした公園として子供から大人まで幅広く利用され、近くには、京都府くつわ池青少年山の家がある。東海自然歩道は、東京・明治の森（高尾国定公園）と大阪・明治の森（箕面国定公園）を結ぶ総延長1,698kmの自然歩道で、そのうち京都府内には約157kmが通じて豊かな自然や文化財にふれながら歩けるようになっており、くつわ池周辺を通っている。府立山城総合運動公園（太陽が丘）は、京都府内の都市公園で最大級の広さを誇っており、面積約100haのうち、約58haは運動施設ゾーンとして体育館、陸上競技場、野球場、球技場、テニスコート、プール等が、周辺は自然林ゾーンとして冒険の森、遊びの森、ふれあいの森、ふるさとの森等が整備されている。年間を通じてスポーツやレクリエーション等のイベントが開催され、府民の日帰りレクリエーション施設として利用されている。鴨谷の滝は、城陽市の南端を流れる青谷川上流の山中にある滝群で、本滝、椎尾、唐櫃、高塚等18の滝は古く「太平記」等にも登場しており、周辺の都市化が進むなかで豊かな自然が残され、「京都の自然200選」の地形・地質部門の一つに選定されている。

(7) その他の事項

宇治市、城陽市、宇治田原町における平成10～12年度の典型7公害（大気汚染、騒音、振動、悪臭、水質汚濁、土壌汚染、地盤沈下）に関する公害苦情件数を表2-2-1.40に示す。

これによると、宇治市及び城陽市では大気汚染、騒音、悪臭、水質汚濁に関する公害苦情の報告が多くある。振動及び土壌汚染に関する公害苦情の報告は各年度とも0～2件、0～1件と少なく、地盤沈下に関する公害苦情の報告はない。また、典型7公害以外である日照障害等に関する公害苦情についての報告はない。

なお、長谷山清掃工場の現有施設に起因する生活環境上の公害苦情については、本組合へ通報又は連絡がされたものはない。

表2-2-1.40 宇治市、城陽市、宇治田原町の公害苦情件数

公害	年度	宇治市 (件)	城陽市 (件)	宇治田原町 (件)
大気汚染	平成10年	54	13	3
	平成11年	36	52	-
	平成12年	15	20	-
騒音	平成10年	22	9	-
	平成11年	16	10	-
	平成12年	24	19	-
振動	平成10年	2	-	-
	平成11年	-	2	-
	平成12年	-	2	-
悪臭	平成10年	21	8	-
	平成11年	22	9	-
	平成12年	21	6	-
水質汚濁	平成10年	17	6	1
	平成11年	21	14	-
	平成12年	16	6	-
土壌汚染	平成10年	-	-	-
	平成11年	-	-	-
	平成12年	-	1	-
地盤沈下	平成10年	-	-	-
	平成11年	-	-	-
	平成12年	-	-	-

注：件数は各年の新規受付分

資料：「平成11～13年度版京都府環境白書」（平成12～14年、京都府）